

第3回津島市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会 議事概要

令和2年7月27日（月）

午後2時から午後3時まで

津島市役所 5階 第1委員会室

出席委員：伊藤委員長、平野副委員長、大鹿委員、浅井委員、濱田委員、
三輪委員、山本委員、岩瀬委員、日比委員、石原委員、服部委員、
森口委員、沖委員

欠席委員：永縄委員、片岡委員

傍聴人：2名

<次 第>

1 開 会

2 議 題

- (1) 第8期津島市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の見直しポイントについて（資料1～資料6）
- (2) 第8期津島市高齢者福祉計画・介護保険事業計画骨子案について（資料7）
- (3) その他

<会議録>

- (1) 第8期津島市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の見直しポイントについて

○事務局より、資料1～資料6の説明

委 員：基本理念2「健康と予防に向けた暮らしづくり」について、健康体操が月1回・2か所くらいで行われていると思うが、効果はどうだったか。

事務局：教室の参加者アンケートでは「よい効果があった」が7割以上で、主観的にみた効果はあったと考えている。客観的には、運動機能の維持向上について各種体力測定を行っており、維持向上したという結果が出ている。

委 員：資料3「第7期計画の施策評価の要点」で評価が「遅延」「おおむね予定通り」等となっているが、数値的には把握しているのか。

事務局：例えば、地域ケア会議の開催については目標350件に対して155件であった。その他、各事業について数値目標を設定してい

- る。
- 委員：地域ケア会議については半分以下の達成状況ということだが、第8期計画にあたり目標数値は変更するか。その辺りの分析はされているか。
- 事務局：分析し実際にできそうな目標に変更していければと思う。地域ケア会議については、市としてはケース検討を別に整理したため、位置付けの違いで異なる意味の数値となっている。第8期計画では見直し、改めて計上する。
- 委員：他の事業についても「遅延」がある。「できる数値を設定」ではなく、ある程度高い目標を立ててやっていくことが重要ではないか。
- 事務局：もったもであり、高い水準を目指していくが、現実とかけ離れた目標にならないよう、よく精査し目標を設定していく。
- 委員：認知症について、「認知症の人とその家族」という言い方だが、「認知症の人と家族」に改めてほしい。対象は「家族」だけではなく、また、「その」という言い方が家族にとって負担になる。資料4に「認知症の早期発見と予防の考え方を含め広く周知・啓発することが必要」とあるが、この「予防」は認知症施策推進大綱に基づくものか。
- 事務局：「予防」の意味はその通りで、「ならない」ではなく「遅らせる」という意味で用いている。
- 委員：資料3の評価の「おおむね予定通り」の「おおむね」とは、数値的にどの範囲か。
- 事務局：数値目標の8割以上の達成でそのように表現している。
- 委員：例えば資料3の基本方針2の「高齢者の移動手段の確保」について「おおむね予定通り」だけではわからない。第8期計画では何らかの目標を示していただけるのか。
- 事務局：次回委員会で、計画骨子案の中でお示しする。
- 委員：国がコロナウイルス関連で新しい生活の仕方を提唱しているが、そういったものも計画に盛り込んでほしい。
- 事務局：本日、国の部会で基本指針等について審議しており、「新しい生活様式」を踏まえて話されると聞いている。結果を見て、第8期計画に対応していく。

(2) 第8期津島市高齢者福祉計画・介護保険事業計画骨子案について

○事務局より、資料7の説明

- 委員：P.19の②の「プール教室等」について、現在コロナウイルスの影響で市民プールは休止しているが、今後はどうしていくのか。
- 事務局：市民プールでなく、施設のプールで実施しており、今後も続け

ていく予定である。

- 委員 : 介護予防について私案があるが、ここで出してもよいか。
- 事務局 : 事業等はまず事務局で検討して次回委員会で案をお示しすることとなるので、次回委員会の前に事務局までお伝えいただきたい。
- 委員 : 次回の委員会では議論の時間は十分とっていただけるか。
- 事務局 : コロナウイルスの件もありあまりに長時間となることは考えていないが、途中で換気をしながら、という前提で検討する。
- 委員 : 委員会の1年間の流れがわからない。次回委員会では何を議論するのか。
- 事務局 : 次回第4回は10月で、事業の内容や目標量等について。第5回は12月で、最終目標の決定や給付費の説明。最終の第6回は2月で、パブリックコメントの結果を反映した案の検討を予定している。
- 委員 : コロナウイルスの影響で大変だとは思いますが、委員会の資料は早目にいただきたい。
- 事務局 : 現在は1週間から10日前程度にお送りしているが、早目の送付を心がけていきたい。
- 委員 : 認知症事業の認知度が低いですが、どうすれば参加してもらえるか、どういう資料なら注目してもらえるか等、現在案はあるか。
- 事務局 : 認知症サポーター講座を小中学校で開催する等、他世代への啓発を意識した取組を行っている。このような取組を検討し、次回の委員会でお示しする。

(3) その他

- 事務局 : 今回は、令和2年10月19日を予定している。